

記者発表

原子力機構原子力科学研究所モックアップ建屋東側共同溝 における汚染について（速報）

平成19年6月26日
生活環境部原子力安全対策課

1 発生日時（確認日時）

平成19年6月26日（火） 13時05分

2 発生場所

日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所
「モックアップ建屋東側共同溝」（非管理区域）

3 状況

（1） 本日13時05分頃，原子力機構は匿名の通報により調査したところ，モックアップ建屋東側共同溝（蒸気ピット）にて汚染を確認した。

汚染部の表面密度；6～13Bq/cm²（管理区域の設定基準；4Bq/cm²）
県に対しても郵送による告発状（匿名）の送付あり。（6/25受付け）

（2） 環境への影響 ; なし

（3） 人の汚染・被ばく ; なし

（4） 原因 ; 過去の汚染によるものと推定（詳細調査中）

〔モックアップ建屋の概要〕

（1） 再処理技術の開発を目的に，昭和34年に竣工

（2） 昭和36年に用途変更し，43年までウランを利用した研究を実施

（3） その後，原子力研修センターとして使用（現在は使用されていない）

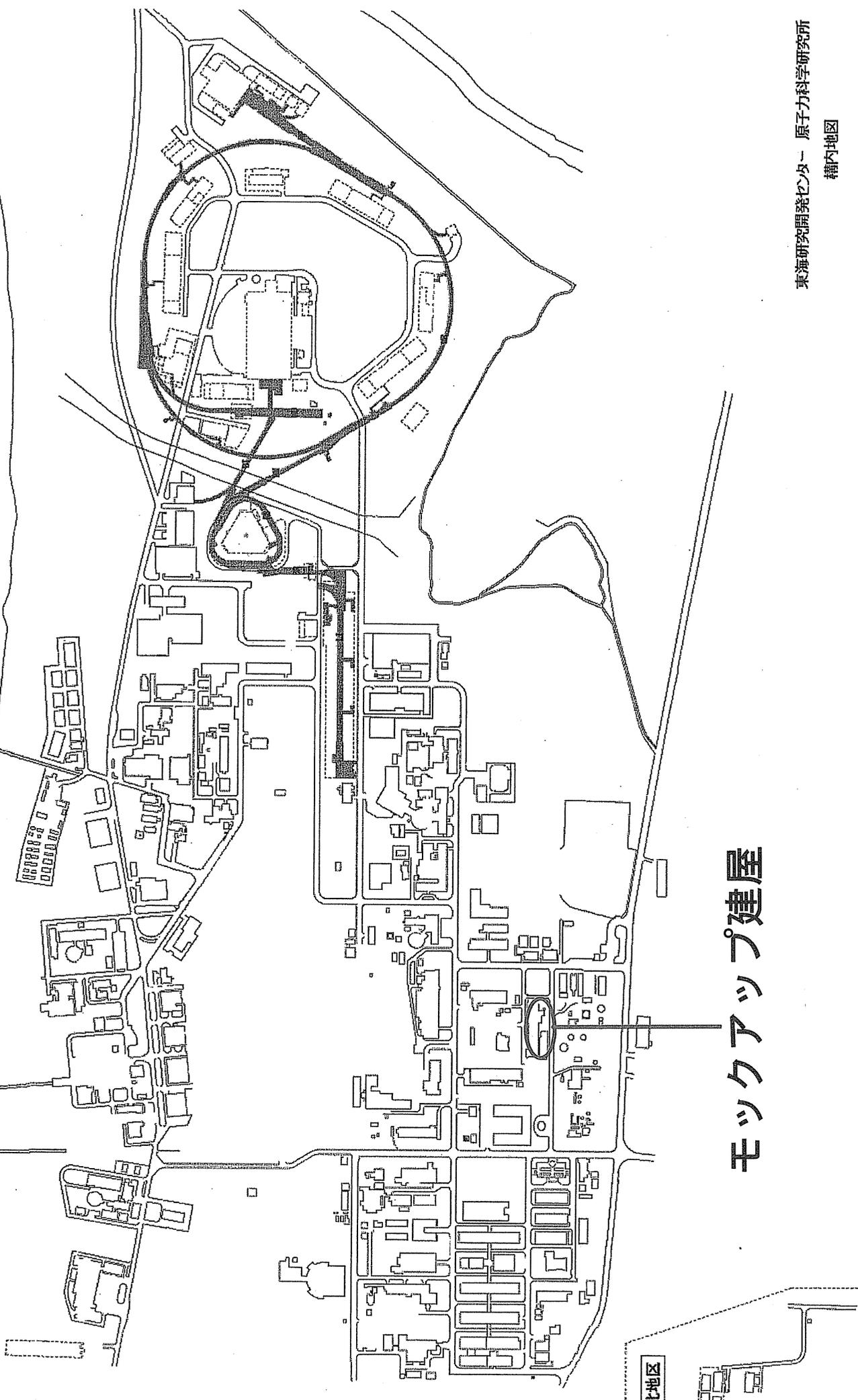
（4） 他の用途（倉庫等）に使用するために，平成17年度から除染作業を実施

別添 【資料1】日本原子力研究開発機構東海研究開発センター原子力科学研究所配置図

【資料2】蒸気配管用の共同溝配置図

本件については，後刻，日本原子力研究開発機構東海研究開発センター原子力科学研究所により記者発表が行われる予定

【資料1】日本原子力研究開発機構東海研究開発センター
原子力科学研究所配置図



モックアップ建屋

【資料2】 蒸気配管用の共同溝配置図

